

パソコン三昧 やさしい講座

[パソコン三昧へ](#) [次のページへ](#) [目次のページへ](#)

第27回 WindowsPE 2.0のCDを作る手順

1. Windows AIK のインストール

まずは、マイクロソフトのWebサイトから「Windows AIK」をダウンロードする。Windows AIKの配布ファイルは拡張子が「.img」になっているが内容はISOイメージファイルである。イメージファイルを簡単に操作できるようにするために、仮想ドライブを構築する。Windows AIKのインストールは、次の手順を進める。

[1. 1 Windows 自動インストールキット\(AIK\)のダウンロード](#)

[1. 2 仮想ドライブの構築](#)

[1. 3 .NET Framework のセットアップ](#)

[1. 4 MSXML 6.0 のセットアップ](#)

[1. 5 Windows AIKのセットアップ](#)

[1. 6 修正プログラムについて](#)

1.1 Windows 自動インストールキット(AIK)のダウンロード

ソフト名	Windows 自動インストール キット (AIK)
入手先	http://www.microsoft.com/downloads/
作者	Microsoft

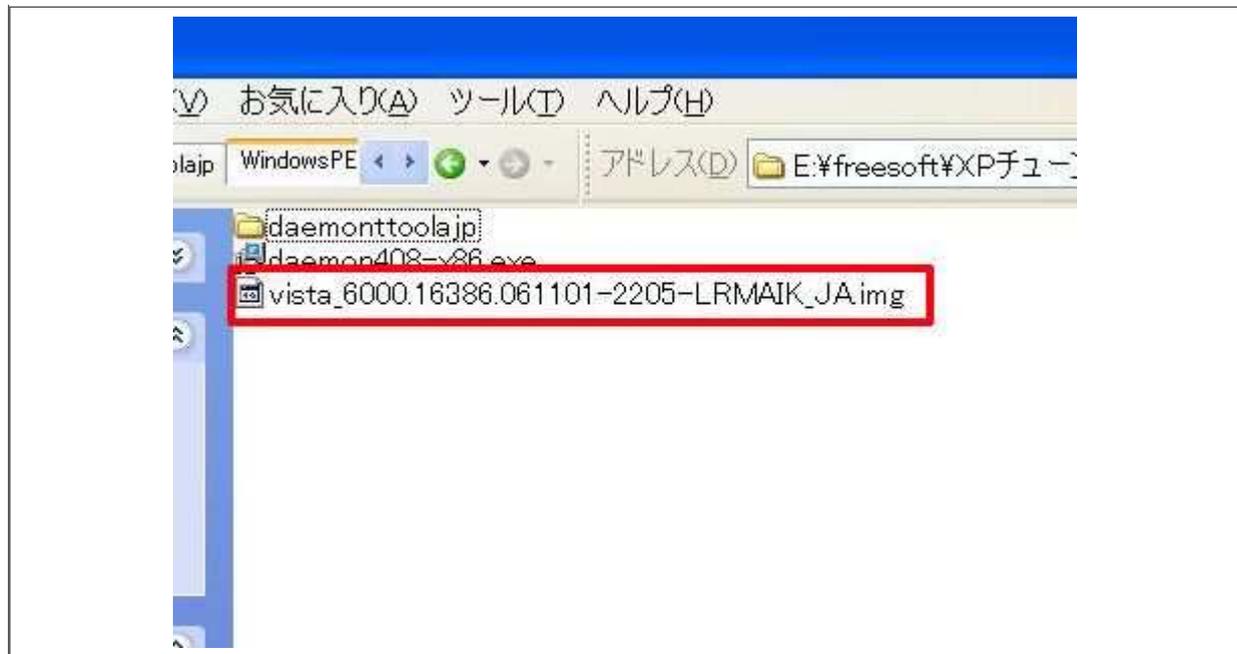
(1) 上表の方入手先のURLをクリックすると、下記の画面が表示されるので、「ダウンロード」をクリックする。



(2) 下記画面で、[保存]をクリックして、任意の場所に「.img」イメージファイルを保存する。



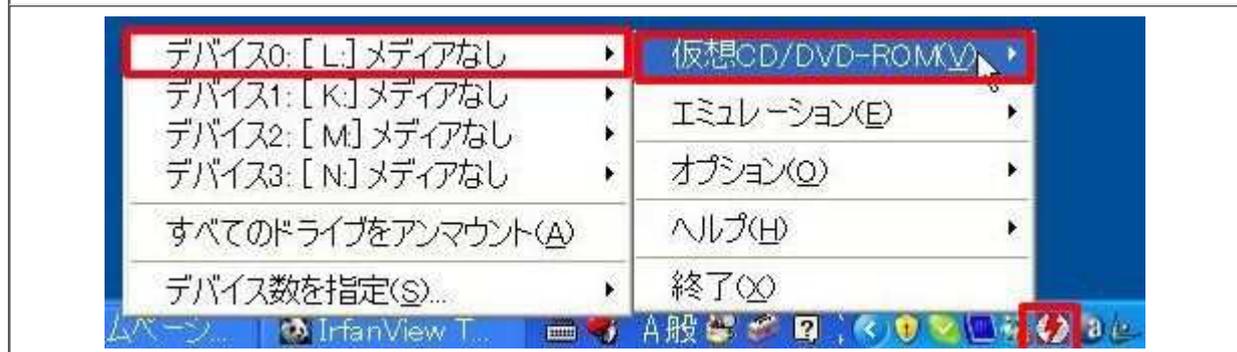
(3) ここでは、「WindowsPE」フォルダに格納した。



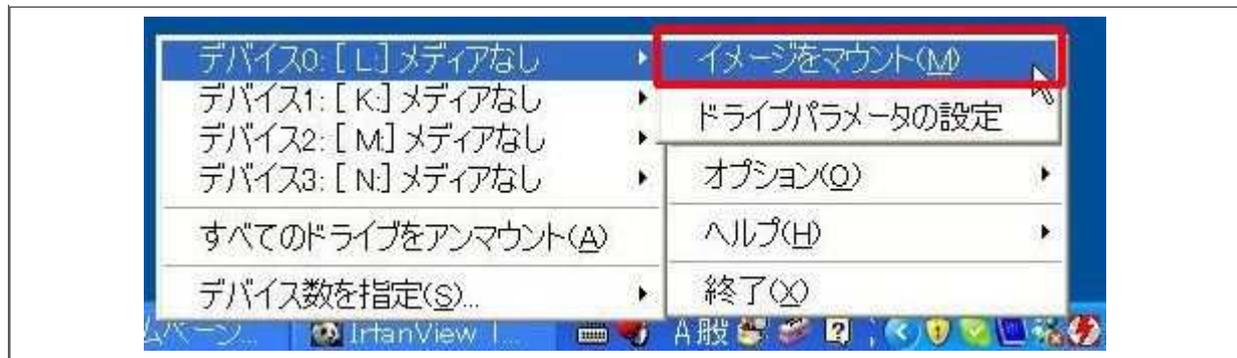
1.2 仮想ドライブの構築

(1) [仮想ドライブの構築は、こちらを参照して構築してください。](#)

(2) 仮想ドライブの構築が出来たならば、タスクバーの「仮想ドライブ」のアイコンを右クリックして、「仮想CD-/DVD-ROM」に、次は「ファブais0:[L:]メディアなし」にマウスポインタを置く。



(3) 「ファブais0:[L:]メディアなし」にマウスポインタを置くと、メニューが表示されるので、「イメージをマウント」をクリックする。



(4) 下記画面で、1.1の(3)項で、ダウンロードした「.img」イメージファイルをクリックして、[開く]をクリックする。このとき、ファイルの種類を「すべてのファイル」を選択しないと「.img」イメージファイルを探すことが出来ないなので注意のこと。



(5) 下記の画面のごとく、「Windows 自動インストール キットの開始」のウィンドウが表示される。



(6) 下記画面で、左側にある「終了」をクリックすると、「Windows 自動インストール キットの開始」を終了させることができる。



(7) 再度、「Windows 自動インストール キットの開始」を起動させる場合は、「マイコンピュータ」で(3)、(4)項で、イメージをマウントした「仮想ドライブ」をダブルクリックする。



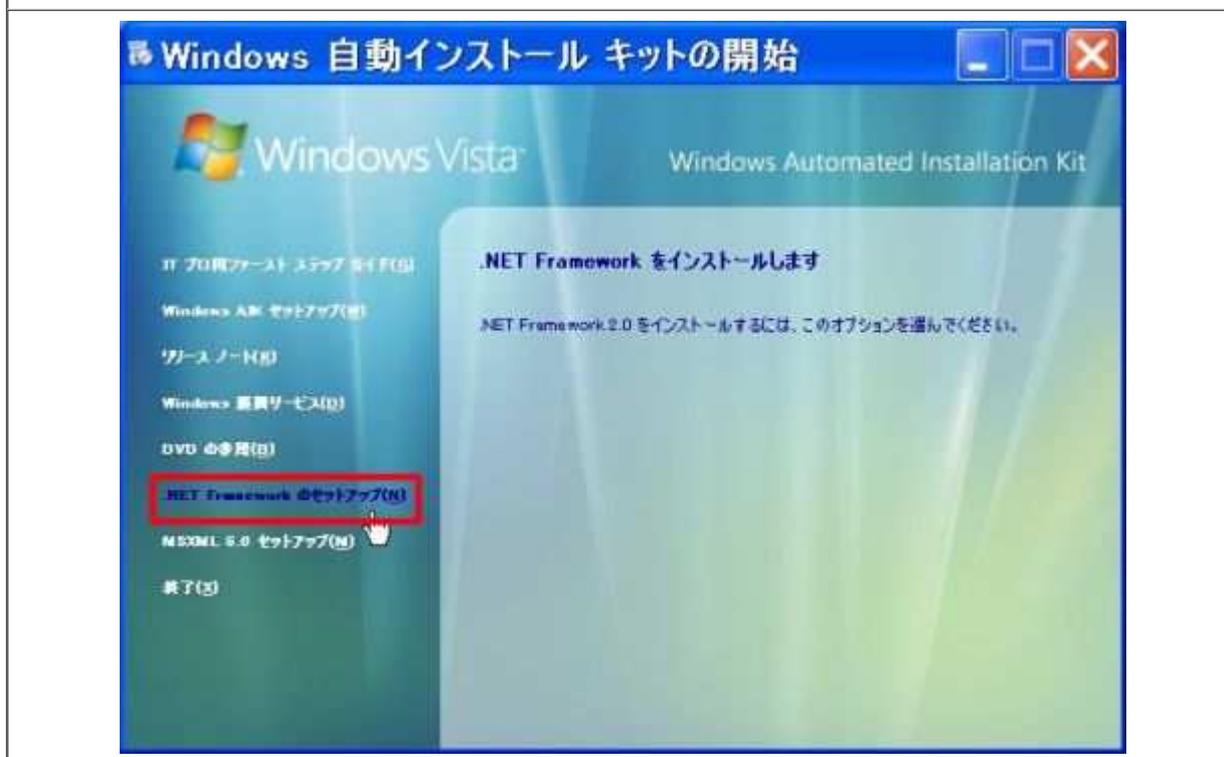
(8)再び、「Windows 自動インストール キットの開始」のウィンドウが表示される。



1.3 .NET Framework のセットアップ

Windows AIK をインストールするためには、「.NET Framework 2.0」と「Microsoft Core XML Services 6.0(MSXML 6.0)」が必要です。もし、「.NET Framework 2.0」がインストールされていない場合は、下記の手順でセットアップを行なう。

(1)「Windows 自動インストール キットの開始」の画面で、左側にある「MSXML 6.0」をクリックする。



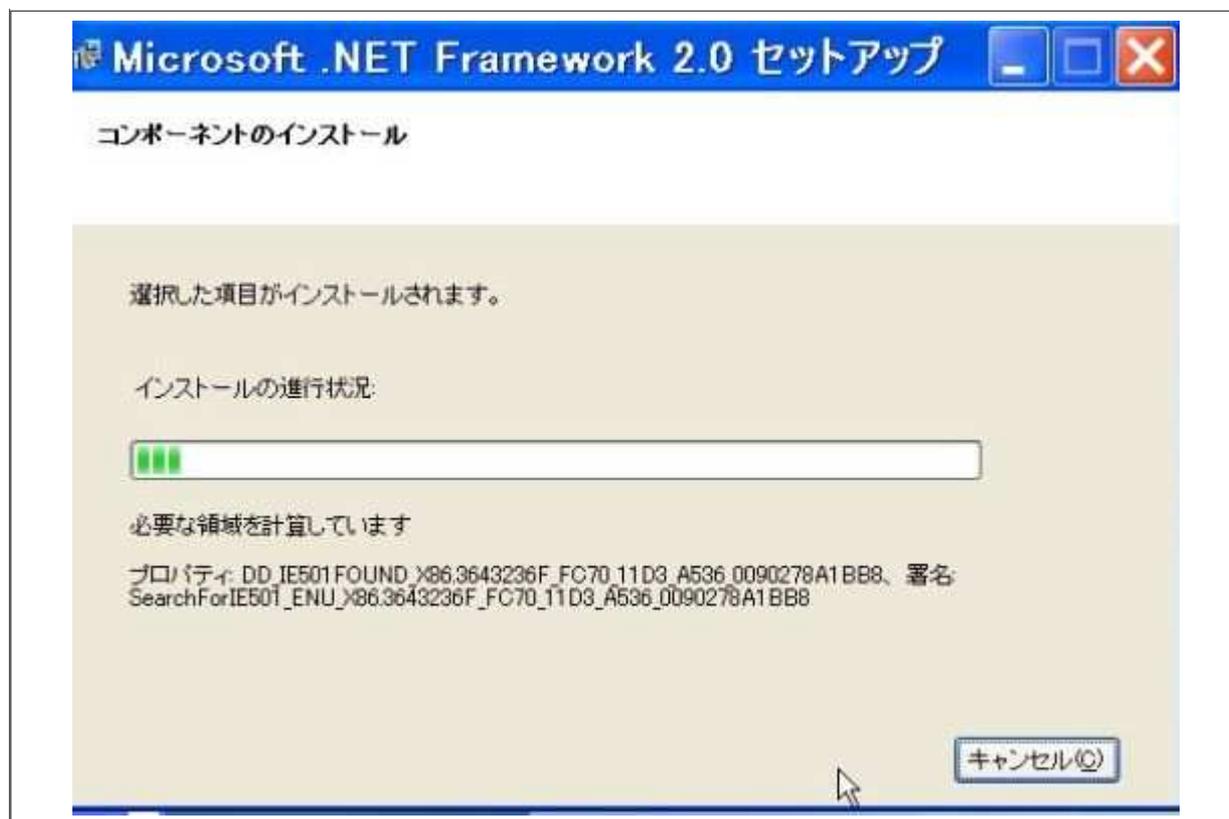
(2)「Microsoft .NET Framework 2.0 セットアップ」画面が表示されるので、[次へ]をクリックする。



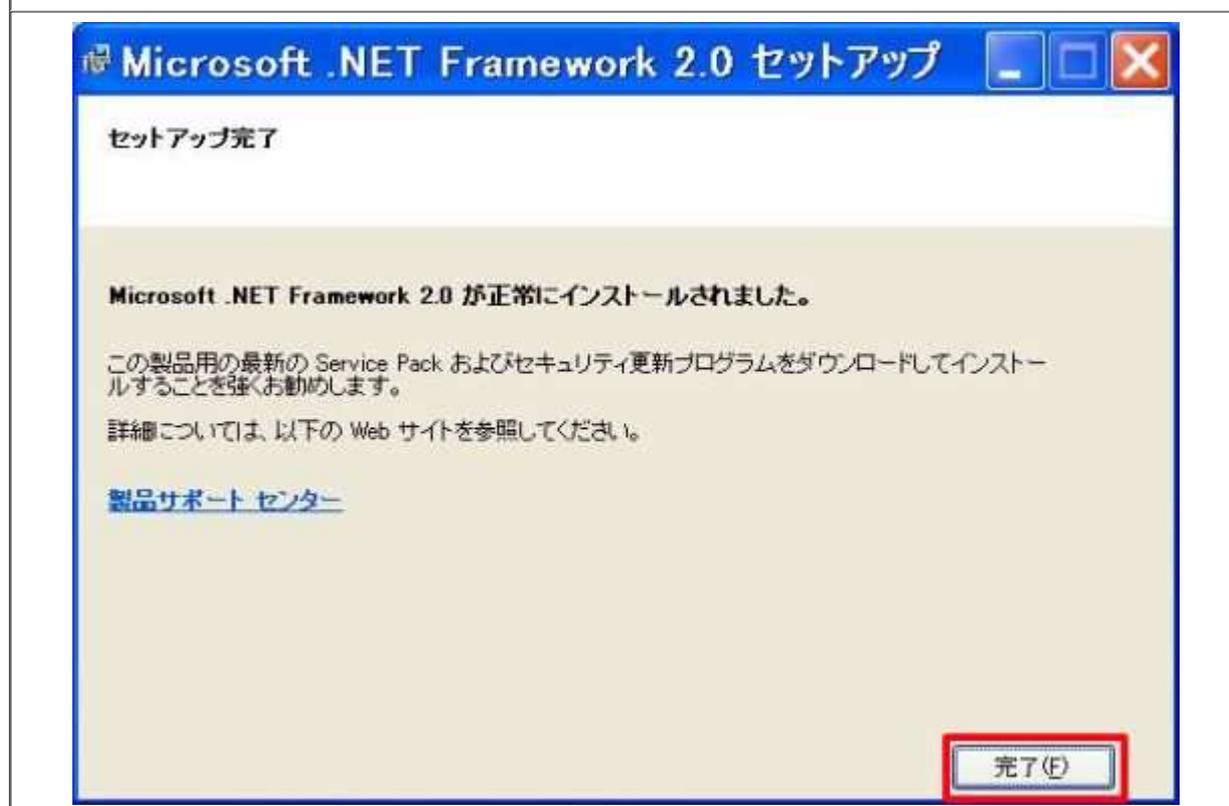
(3) 下記画面で、「同意する」の「チェックボックス」にチェックを入れて、[インストール]をクリックする。



(4) インストールの処理が始まる。



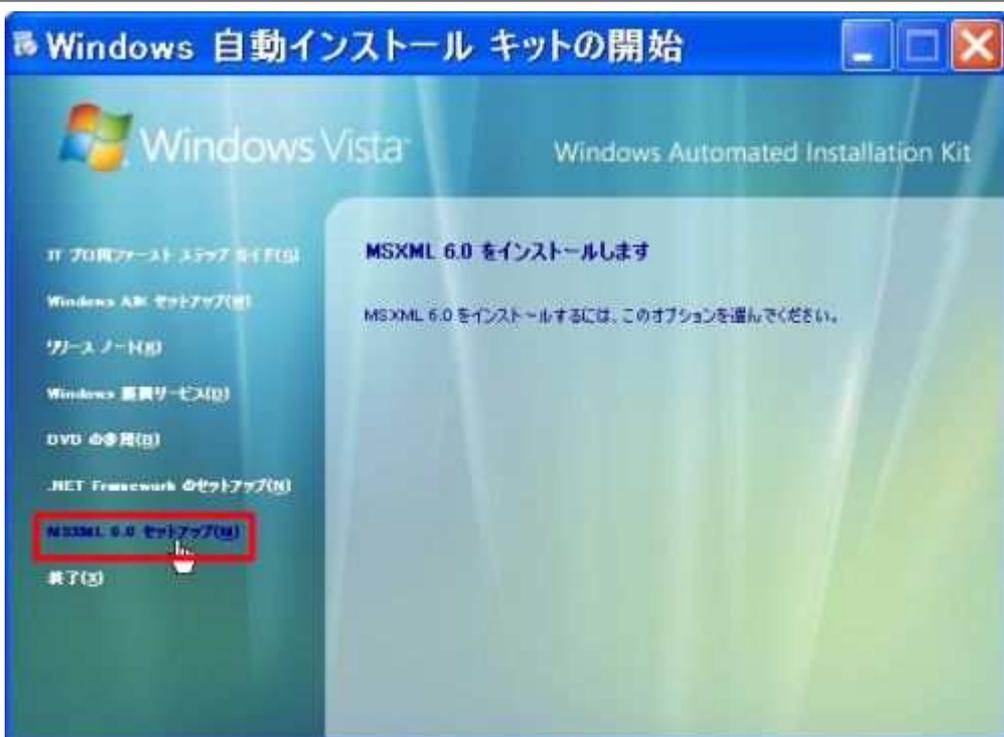
(5) インストールが完了すると、下記画面が表示されるので、[完了]をクリックする。



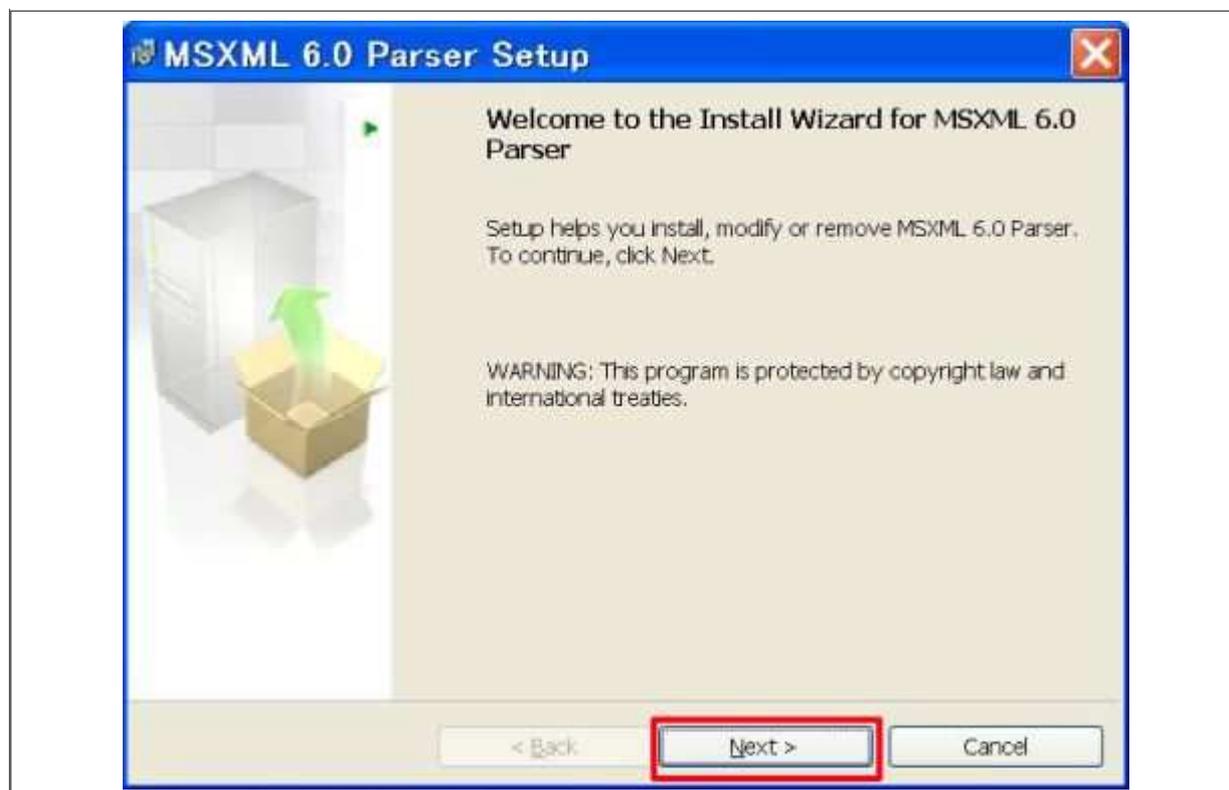
1.4 MSXML 6.0 のセットアップ

Windows AIK をインストールするためには、「.NET Framework 2.0」と「Microsoft Core XML Services 6.0(MSXML 6.0)」が必要です。もし、「Microsoft Core XML Services 6.0(MSXML 6.0)」がインストールされていない場合は、下記の手順でセットアップを行なう。

(1)「Windows 自動インストール キットの開始」の画面で、左側にある「MSXML 6.0 セットアップ」をクリックする。



(2)「MSXML 6.0 Pares の Install Wizard」画面が表示される。下記画面で、[Next]をクリックする。



(3) 下記画面で、「I accept the terms in the license agreement」の「チェックボックス」にチェックを入れて、[Next]をクリックする。



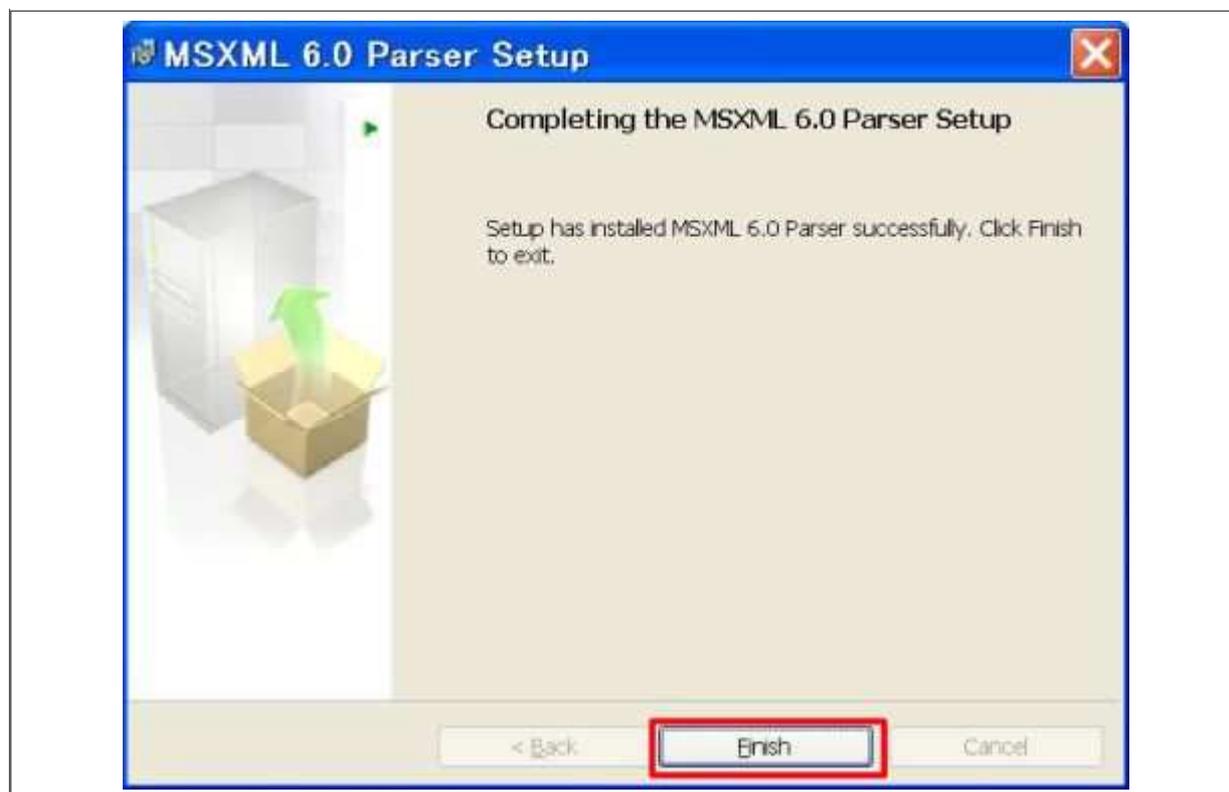
(4) 下記画面で、「Name」を入力して」、「[Next]をクリックする。



(5) インストールが始まる。



(6) インストールが完了すると、下記画面が表示されるので、[Finish]をクリックする。



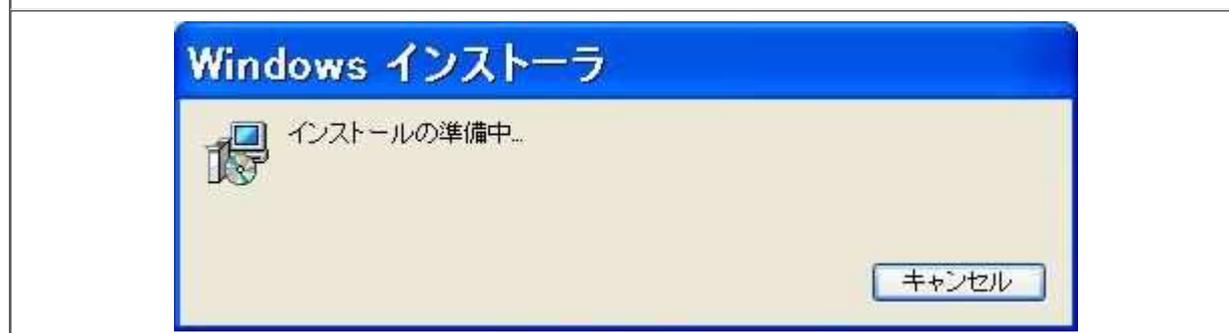
1.5 Windows AIK のセットアップ

いよいよ、Windows AIK のインストールを開始する。

(1)「Windows 自動インストール キットの開始」の画面で、左側にある「Windows AIK セットアップ」をクリックする。



(2) インストールの準備中。



(3) 「Installation Kit セット アップ ウィザード」画面が表示される。下記画面で、[次へ]をクリックする。



(4)「同意します」の「チェックボックス」にチェックを入れて、[次へ]をクリックする。



(5) インストール先フォルダを設定して、[次へ]をクリックする。ここでは、「e:ドラ

イブ」の「Program Files」の「Windows AIK」としてた。



(6) 下記画面で、[次へ]をクリックする。



(7) インストール実行中。**(8) インストールが完了すると、下記画面が表示されるので、「閉じる」をクリックする。**

(9) 下記画面で、左側にある「終了」をクリックして、「Windows 自動インストール キットの開始」を終了させる。



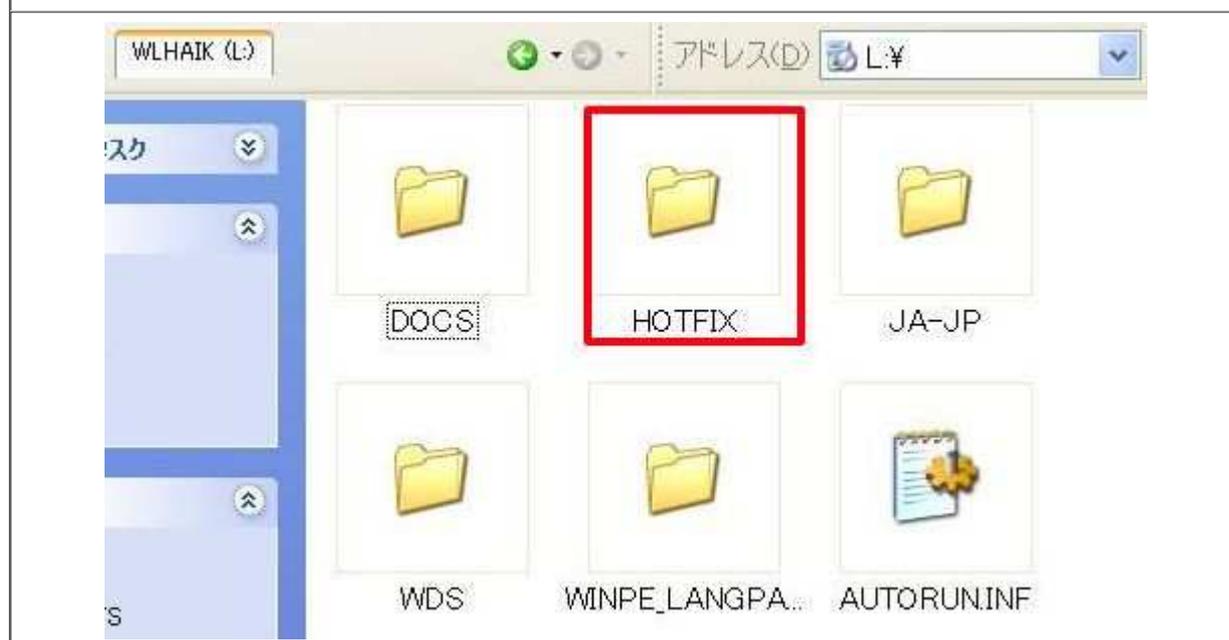
1.6 修正プログラムについて

イメージファイルのルートに格納されている「READMERTF」には、WindowsXPの環境では「HOTFIX」フォルダ内の「WINDOWSXP-KB914882-X86-JPN.EXE」をインストールする必要があると記述されているそうです。しかし、HotFixの日付がかなり古いため、自動更新により新しいバージョンがインストールされていると思われるので、「ImageXコマンド」で、イメージファイルをマウントできない問題が発生するようなら、この修正プログラムをインストールをする。その手順を記す。

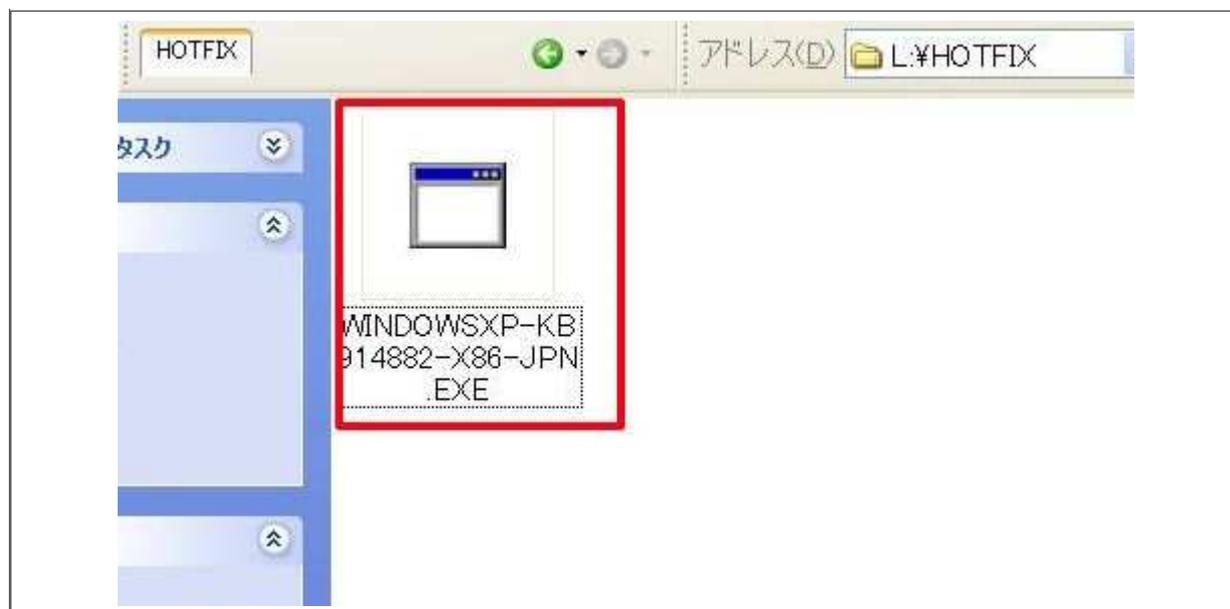
(1) 「マイコンピュータ」で、**1. 20(3),(4)項**で、イメージをマウントした「仮想ドライブ」を右クリックして、メニューの「開く」をクリックする。



(2) 仮想ドライブの中の「HOTFIX」フォルダをクリックする。



(3) 「HOTFIX」フォルダに「WINDOWSXP-KB914882-X86-JPN.EXE」ファイルがある。このファイルをダブルクリックするとインストールが始まる。



これで、前準備は出来上がりました、次は、いよいよ、WWindowsPE 2.0のCDの作成です。

このページは、下記の書庫を参照しました。

月刊誌「PCJapan」 発行 ソフトバンク クリエイティブ株式会社

[次のページへ](#) [目次のページへ](#)

[このページのトップへ](#) [やさしい講座のメニューへ](#) [パソコン三昧へ](#)

Powered by [FC2.com](#)